

令和5年度 川崎市社会教育委員会議 青少年科学館専門部会

次 第

日時：令和5年11月10日（金） 14時

会場：川崎市青少年科学館 自然学習棟2階 学習室

1 開会

2 館長挨拶

3 議題

令和5年度事業実施中間報告について 資料1

4 報告事項

(1) 第3回専門部会（事業視察）の希望調査について 資料2

(2) その他

5 閉会

参考資料

- ・科学館だより
- ・プラネタリウムリーフレット
- ・誕生100年 プラネタリウムの舞台裏

川崎市社会教育委員会 青少年科学館専門部会 委員名簿

任期：令和4年5月1日から令和6年4月30日まで

		氏 名	役職等
1 号	教育職員	上野 和美	藤崎小学校 校長
		高橋 泉	白鳥中学校 校長
2 号	社会教育 関係		
3 号	公募市民	服部 公俊	公募市民
		南條 邦子	公募市民
4 号	学識 経験者	佐藤 武宏	県立生命の星・地球博物館 学芸部長 (貝類学・甲殻類学・機能形態学)
		川島 逸郎	日本トンボ学会編集委員 (昆虫学)
		山岡 均	国立天文台天文情報センター センター長／准教授 (天文学)
		常喜 豊	昭和女子大学人間社会学部 特任教授 (動物生態学)
		栗芝 正臣	専修大学ネットワーク情報学部 准教授 (デザイン学)
5 号	家庭教育 関係	眞壁 総子	特定非営利活動法人 ままとんきっず 理事長

令和 5 年度 青少年科学館事業実施中間報告

(1) 収集保存事業

分野	事業名	事業実施状況 (9 月末現在含む)
自然	1 収蔵資料の収集・分類・整理 (台帳化)	新規作成資料として、昆虫 557 個体を採集し、そのうち 301 点について標本を作製中。また、収蔵庫にある既存の昆虫標本のうち未登録資料の整理・登録 (電子台帳化) として 1,000 点を目標に進めており、これまでに 450 点を登録済み。
	2 GBIF 等国内外機関への資料情報の提供	「サイエンスミュージアムネット (S-Net)」「地球規模生物多様性情報機構 (GBIF) へのデータ提供による国内外への収蔵資料情報の公開、今年度は 10 月末に 2,250 件を提供。
天文	1 プラネタリウム番組のアーカイブ化	毎月行っている一般向け番組制作の際に収集した資料、番組素材をアーカイブとして保存している。 資料のデータベース化について、他館の事例を調査するなど検討を行う。
	2 天文資料の整理保存	故富田氏、故箕輪氏から寄贈された天文資料を整理保存し、目録作成を進める。天文古書等の紙資料について古書 11 点 (全 616 ページ) のデジタル化を行った。
科学	1 科学実験についての資料収集と保存・管理	サイエンス教室・サイエンスワークショップ等で提出される計画書・報告書を実践事例集の作成に向けて管理している。館内視聴を踏まえ、科学工作を紹介する 10 分程度の動画を編集した。

(2) 展示事業

分野	事業名	事業実施状況 (9 月末現在含む)	実施回数 カッコ内は年間予定	観覧者数等 (延べ数)
自然	1 生田緑地の自然情報の発信	生田緑地における自然についてのリアルタイムな情報発信として、受付横の生田緑地マップを 2 週間に 1 度の頻度で更新、SNS は 27 回更新している。	通年	—
	2 新たな自然史資料による常設展示の更新	新たな標本・キャプションによる展示更新として、生田緑地の四季だよりは 2 回を更新、ピックアップテーブルは 4 回を更新している。	通年	—
天文	1 プラネタリウム一般投影 (一般投影番組制作含む)	市民への天文知識普及を目的に、毎月テーマを変えて番組を制作し、投影を実施している。 5 月から金曜日の一般向け投影で双眼鏡の貸出しを再開した。	通年	33,203 人
	2 子ども向け投影 (子ども向け番組制作含む)	幼児・小学生を対象に約 2 カ月ごとに番組を変えて投影している。 (土・日・祝日: 1 日 1 回、夏・冬・春休み期間: 1 日 2 回) 来年度から投影する新番組を制作予定。	通年	
	3 星空ゆうゆう散歩	平日午後シニア向け投影として実施している。元職員の國司眞氏が解説を担当している。	5 回 (11 回)	573 人
	4 ベビー&キッズアワー	4 歳までの乳幼児とその保護者を対象とした投影を 7 月から再開した。第 1 木曜日、第 3 水曜日 (学校の長期休業期間等を除く) に開催している。	3 回 (通年)	224 人

	5	プラネタリウム学習投影	小中高等学校の学習指導要領に準拠した投影を実施している。この他幼稚園・保育園等を対象とした投影を実施している。	通年	
	6	星空自由空間 (一般団体貸切利用)	平日に一般団体による貸切利用を受入れ。投影内容等のカスタマイズに応じる。	通年	今年度実績なし
	7	天文関連展示事業	7月22日～8月20日にプラネタリウム誕生100周年に関連し、当館のプラネタリウムの舞台裏を紹介する企画展を開催した。オーロラ上映会に合わせオーロラ写真パネル展を10月に開催予定。	通年	企画展来場者数 7,926人
科学	1	市民協働の科学工作展示	サイエンス教室・サイエンスワークショップ等で取り組んだ科学工作物を1点更新した。デジタルサイネージを使って、館内視聴できるように工作物紹介の動画公開を開始した。	通年	—

(3) 調査研究事業

分野	事業名	事業実施状況 (9月末現在含む)
自然	1 市域の生物調査	種子植物と野鳥は全区で、昆虫とシダ植物は生田緑地を中心として、市域における動植物相解明を進めるための生息種の確認調査を行うとともに、また、生田緑地を中心として植物、野鳥、昆虫はモニタリングが可能な分類群については、生息状況把握のための実態調査を継続中。
	2 市民の興味関心を高める調査研究の実施	外来種のムネアカハラビロカマキリについて、昨年度の幼虫期での採集圧による個体数抑制の効果を検証するために、生田緑地内に3つのルートを設置し、それぞれ週に1度の頻度で調査を実施している。9月末までに各ルート12回、計36回調査し、調査外も含めムネアカハラビロカマキリを43個体、ハラビロカマキリを3個体、ハラビロカマキリSPを1個体確認している。また、新たな調査研究の対象について検討する。
天文	1 川崎市域の星の見え方調査	市民協働による川崎市域における肉眼とデジカメによる夏期の星の見え方調査を実施し肉眼の調査には38件のデータが集まった。冬期にデジカメによる星空調査を実施予定。
	2 天体の観測	太陽望遠鏡での白色光及びH α 光による太陽観測を随時実施している。今後、土星や木星などの惑星や天文現象の観測を行う。
科学	1 市民の興味関心を高める調査研究の実施	玉手箱教材「飛ぶタネ」で使用するタネを見直し、生田緑地及び周辺での計画的な採取を行った。地層学習のデジタル教材化に向けて、露頭などの画像資料を確認し、一人一台端末の授業活用に向けたデジタル教材の検討を進めている。

(4) 教育普及事業

分野	事業名	事業実施状況 (9月末現在含む)	実施回数 カッコ内は年間予定	観覧者数等 (延べ数)
自然	1 生田緑地観察会	生田緑地の地質、野鳥、植物、昆虫などをテーマに観察会を事前申込制で実施、雨天や熱中症回避での中止4回。(市民団体が講師)	10回 (26回)	86人
	2 サイエンス教室 (自然分野)	バックヤードツアー等の教室や地質をテーマにした観察会を含む3回連続講座を開催。教室の一部は天文班と協力して実施。	2回 (7回)	17人
	3 自然サポーター研修会	自然分野の調査研究等を行う自然サポーターを養成することを目的とした講座を4回連続講座で実施。	3回 (4回)	25人

	4	自然観察（地層・林）	学習支援を目的に、小・中・高等学校の依頼に基づき、生田緑地内の地層の観察会を実施。林の観察会は依頼なし。	6校6回 （通年）	535人
	5	総合的な学習の時間支援	小・中・高等学校の依頼に基づき、総合的な学習の時間の支援を実施。	（通年）	学校からの依頼受付中
天文	1	アストロテラス公開	平日の昼間アストロテラスにて太陽の観察を行う 月に2回程度、日曜日に「昼間の星を見る会」を開催し、太陽と1等星や惑星などを観察する。	公開 29回 昼星 4回	公開 1,229人 昼星 118人
	2	星を見るタベ	日没後アストロテラスにて天体観察会を実施する。通常は月2回土曜日の実施だが、8月は毎週計4回実施した。	14回 （26回）	828人
	3	特別観望会	珍しく観察しやすい天文現象等を観察する観望会を開催する。今年度は該当する天文現象はなく、計画なし。	計画なし	—
	4	プラネタリウムワークショップ	小学生を対象とし、プラネタリウムの番組を企画・制作・投影する教室を5月から全12回の日程で実施している。12名が参加し、3月に発表会を開催予定。	5回 （12回）	
	5	【新規】 プラネタリウム発表会	近隣の学校と連携した事業として日本女子大学附属高等学校と連携し、天文クラブ生徒によるプラネタリウムの番組制作、投影発表会を実施した。	1回	64人
	6	天文講演会／天文講座	プラネタリウム100周年を記念し、メガスター開発者を講師に迎えた講演会を年度内に開催予定。	0回 （1回）	
	7	天文サポーター研修会	天文事業ボランティアの会合を定期的に実施し、事業の準備や研修を行い、スキルアップと事業の充実を図る。	6回 （12回）	57人
	8	プラネタリウム イベント投影	元南極越冬隊員による特別投影を1回、震災特別番組の上映を2回行った。 また、プラネタリウムでの映像イベントとして「オーロラ上映会」を一般向け2回、子ども向け1回を10月に実施予定。 星空の下で音楽を楽しむコンサートを12月に開催予定。	3回 （7回）	303人
	9	かわさき星空ウォッチング	アストロカー（移動天文車）で市内各地に向いて行う天体観察会を依頼に応じて9月以降実施している。	1回 （通年）	83人
	10	サイエンス教室 （天文分野）	天文に関する体験教室として、月や星の観察や日時計工作などを実施した。また、プラネタリウムバックヤードツアーを実施した。	6回 （8回）	64人
科学	1	ワクワクドキドキ玉手箱 出前科学実験教室	小中学校等の依頼に基づき、委託団体が出向いて、ワクワクドキドキ玉手箱を活用して行う科学実験教室を実施している。	18回 （通年）	589人
	2	サイエンス教室 （科学分野）	様々な年代を対象に、科学の楽しさに触れられる実験や工作を行う事前申込制の教室を実施している。	12回 （32回）	136人

3	サイエンスワークショップ (サイエンスショー含む)	子どもから大人まで楽しめる当日参加型のイベント。サイエンスをテーマにした簡単な工作や観察・実験を実施している。 5 類移行をふまえ、6 月からイベント実施方法を整理券方式から先着順へ変更した。	35 回 (64 回)	1,631 人
	科学実験ショー (サイエンスショー)	ワクワクドキドキ玉手箱を活用した科学実験ショーを開催予定 ※11/3、2/23 祝日の2 日間を予定 (トラボクラブ担当)	0 回 (2 回)	—
4	第 18 回かわさきサイエンスチャレンジ	子どもの科学への関心喚起・促進を目的に、KSP (かながわサイエンスパーク) で8 月開催の「かわさきサイエンスチャレンジ」に参加し、6 つの工作ブースと3 種類のサイエンスショーの出展協力を行った。	1 回	897 人
5	科学サポーター研修会	科学実験指導者を養成することを目的とした講座を実施した。館内イベント (教室やワークショップ) での実習を含め全6 回の講座を行い、受講者 11 名が修了した。	6 回 連続講座	延べ 62 人
6	子ども創意くふう教室	一人ひとりの創造性を伸ばすことを目的とした連続講座を 12 月に開始予定 (担当講師: NPO 法人教育活動総合サポートセンター)	0 回 (5 回)	—
7	出前教室	科学館職員が、実施団体から依頼を受けて自然や科学、天文に関するテーマに行う出前教室。図書館施設の要請により、学芸職員が生物をテーマとした出前教室を 6 月に実施した。	通年	16 人
8	学校支援 ゆうゆう広場科学実験教室	川崎市適応指導教室 (ゆうゆう広場) に通う小中学生を対象に、科学館や各ゆうゆう広場にて行う科学実験教室	12 回 (24 回)	63 人
9	学校支援 かわさき GIGA スクール構想	学校の理科教育の充実につながるよう端末を活用したデジタル教材の構成を検討している。	通年	—
共通	1 【新規】 夏休み そらみど♪ 小学生おしごと体験	小学生を対象として、科学館の自然・天文分野の学芸業務を体験する講座を8月に開催しました。	1 回	11 人
出版事業	1 青少年科学館「紀要」等 出版物の刊行	調査研究等、学芸事業の成果を「紀要第 34 号」に取りまとめていく。紀要への査読の導入、紙媒体での刊行、公表時期等に関する他館への調査結果を参考に紀要の在り方について検討している。	通年	—

(5) ネットワーク事業

分野	事業名	事業実施状況 (9 月末現在)	実施回数	観覧者数等 (延べ数)
展示 ・ 企画	1 神奈川リレー科学実験教室	科学に関心をもつ子どもの育成や、科学の体験活動を推進することを目的とした教室を 7 月 16 日に開催した。 共催: 神奈川県立青少年センター	1 回	46 人

	2	FIELD MUSEUM 展	令和6年1月14日(日) 予定の専修大学「FIELD MUSEUM 展」に向けて、生田緑地の体験型教材として地層フィールドワーク(学生29名参加)を開催した。	0回 (1回)	—
	3	川崎市臨海部企画展示	キングスカイフロントの取組や市内企業による最先端技術を紹介する展示会について川崎市臨海部事業推進部と調整中。		
調査研究・ 収集保存	1	川崎市域の生物調査	「かわさき自然調査団」と共著で調査結果を公表する。「神奈川県植物誌調査会」の川崎ブロック事務局として資料の受入、問合せ等に対応する。	通年	
学習支援	1	職場体験・職業インタビューの実施	8月に県立高校のインターンシップ、市内中学校の職場体験では6月1校、7月3校を受け入れた。博物館業務全般に関する質疑応答への対応として職業インタビューを7月2校受け入れた。	7回 (通年)	25人
	2	中学校連合文化祭開催への協力	市内の中学生が集まる市中学校理科作品展受賞式及び研究発表の会場協力を10月25日(水)に開催予定。	0回 (1回)	—
	3	教員・職員等研修の受入れ ・教員研修 ・教員社会体験研修 ・博物館実習	・市内外の小中学校及び理科研究会などの依頼により、自然観察(地層・林)や天文の研修会を7月(32名)に実施した。横浜国立大学CST養成講座を8月(8名)に実施した。 ・川崎市総合教育センターからの要請により、初任者教員の施設利用(225名)を受け入れた。 ・県立学校教員(1名)の要請により、社会教育施設体験研修を受け入れた。 ・博物館学芸員を志す学生(10名)を受け入れ、8月に2週間の実習を実施した。	通年	276人
	4	川崎市小・中学校理科優秀作品展	小学校科学作品展における市長賞受賞7作品を12月に、中学校理科作品展における金賞作品及び、日本学生科学賞神奈川作品展特別賞受賞作品を令和6年1月に展示予定。	0回 (2回)	—
地域振興・ 生田緑地内	1	図書館、区役所等との共催事業の実施	多摩図書館との共催でプラネタリウムでの読み聞かせ投影を11月に実施予定。また区民祭では市民によるプラネタリウム特別投影を10月に実施予定。		
	2	地域の大学、団体等との共催事業の実施	田園調布学園大学と連携した事業を開催するため、調整等を行っている。また、11月に川崎天文同好会との講演会の開催も予定している。	通年	適宜対応

	3	生田緑地ミュージアムの実施	「お月見フェスタ」として9月30日に11時から20時まで開催した。当館においては、お月見プラネタリウムとして、中秋の名月について子どもから大人まで観覧いただける特別投影を実施した。また、民家園の学芸員と当館学芸員が合同で、民家園でのお月見トーク（昼）を実施、ステージイベントでも当館学芸員がお月見トーク（夕）を行った。	1回	生田緑地入園者 11,212人 入館者数 3,838人 お月見投影 200人（満席） お月見トーク 各50人程度
	4	日本民家園との「七夕」「お月見」事業の共催等、生田緑地内施設との共催事業の実施	日本民家園と連携し、「七夕体験」としてプラネタリウムの関連番組の投影、短冊の配布と飾りつけを実施した。お月見イベントについては3に記載。		
	5	生田緑地内施設及び指定管理者との広報活動の推進、各施設の回遊性の向上	全体会議、広報担当者会議の参加、協力により、緑地内施設と指定管理者との情報共有、横断的広報活動の推進を図っている。生田緑地内施設、藤子・F・不二雄ミュージアムとの連携によるスタンプラリーの開催、生田緑地内の紹介をするフリーマガジン（もりのにじ）の作成等により施設の回遊性の向上を図った。	通年	—

(6) 管理運営

	事業名	事業実施状況（9月末現在）
管理運営	1 管理業務	指定管理者と連携し、館を円滑に運営するとともに、予算を計画的に執行している。 指定管理者については、新型コロナウイルスの5類移行に伴い各事業の定員が増えている中、円滑な事業運営を行っている。また、構成企業の強味を生かした自主事業を行っている。
	2 危機管理	防災点検表による館内諸室・設備の定期点検を職員が分担して実施、毎月点検・報告を行っている。 災害時の初動対応マニュアルについて、定期的な訓練等を通じて内容の更新を行うとともに、災害時における適切な対応の確保を図る。今年度は9月1日（金）に館職員、指定管理者、ショップ及びカフェの関係者が参加して消防訓練を実施した。2月又は3月にも訓練実施予定。
	3 進行管理	青少年科学館専門部会での指導・助言や事業評価を踏まえて年度事業計画を策定し、内容や実施方法についてより適切な方法等を検討しながら事業実施・進行管理を行っている。
科学館の魅力をも高めるサービス展開	1 広報計画	科学館だより、プラネタリウムリーフレット、ホームページ、SNS等による情報発信を積極的に行うとともに、緑地全体の広報活動と連動した情報発信を行っている。 毎月1回定期的にかわさきFMへ学芸職員が出演しているほか、ラジオやテレビ、新聞雑誌等の刊行物の取材を積極的に受け広報に努めている。
	2 魅力をも高めるサービス展開	科学館スタッフが適切な案内及び接遇を行うほか、学芸部門の職員によるレファレンス対応、ショップ及びカフェにおけるサービスの向上等により、館全体の魅力向上を図っている。
	3 多様な利用者への配慮	バリアフリー関連設備・用具、表示の保全と研修等による人的支援の充実を図るとともに、英語・中国語・韓国語の館内案内を用意し外国人来館者への利便性向上を図っている。 プラネタリウムでは、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、ヒアリンググループ（磁気グループ）受信機の貸し出しを再開し、聴覚障害者など、補聴器等を使用している方の「聞こえ」をサポートしている。

視察事業希望調査表

資料2

回答者 様

- 視察ご希望の事業の「参加申込」欄に、○印及び参加可能時間をご入力ください。
 全てご希望ない場合は、回答者欄にお名前を入力の上、こちらに「○」をお願いします ⇒ 希望なし「 」
- 事業の内容、実施状況について、館HP (<https://www.nature-kawasaki.jp/>) から確認いただけます。
 ご不明な点がございましたら、メール、電話等でご連絡ください。

日にち	時間	対象事業			参加申込	
		分野	事業名	概要	申込	参加可能時間
12月1日 (金)	9:30-11:35	学校	地層観察会	小学6年生の理科授業支援として行う、生田緑地における地層の露頭観察会。対象は市立殿町小学校6年生。(雨天時室内プログラム1時間程度で実施)	※	: ~ :
	10:00-10:45	学校	プラネタリウム学習投影	学習指導要領に準拠しながら行うプラネタリウム投影。対象は市立宿河原小学校4年生。	※	: ~ :
	11:15-12:00	学校	プラネタリウム学習投影	学習指導要領に準拠しながら行うプラネタリウム投影。対象は市立稲田小学校4年生。	※	: ~ :
	14:00-14:45	天文	アストロテラス公開	アストロテラスの望遠鏡を使った太陽の観察(晴天時のみ)		: ~ :
12月2日 (土)	10:00-11:30	科学	サイエンス教室「塩の科学」	小学3～6年生を対象。NPO法人科学実験教室サポーター・くじらによる科学実験教室。実験を通して、楽しみながら科学現象について考える。	※	: ~ :
	12:30-14:30	科学	サイエンスワークショップ	子どもから大人まで自由参加の所要時間15分程度の初歩的な科学講座。当日テーマは、立体カードづくりを予定(館職員担当)。		: ~ :
12月3日 (日)	10:00-11:30	科学	子ども創意くふう教室	身近な材料を使い、創意工夫により作品を作る5回連続講座の1回目。小4～中3対象。	※	: ~ :
	11:00-12:00	自然	生田緑地観察会	特定のテーマに沿って緑地を案内するネイチャーガイド。当日のテーマは植物(雨天中止の場合あり)	※	: ~ :
12月5日 (火)	9:30-11:35	学校	地層観察会	小学6年生の理科授業支援として行う、生田緑地における地層の露頭観察会。対象は市立西梶ヶ谷小学校6年生。(雨天時室内プログラム1時間程度で実施)	※	: ~ :
	10:00-10:45	学校	プラネタリウム学習投影	学習指導要領に準拠しながら行うプラネタリウム投影。対象は市立麻生小学校4年生。	※	: ~ :
	11:15-12:00	学校	プラネタリウム学習投影	学習指導要領に準拠しながら行うプラネタリウム投影。対象は市立西菅小学校4年生。	※	: ~ :
12月7日 (木)	10:30-11:00	天文	プラネタリウムベビー&キッズアワー	0歳からの乳幼児と保護者を対象としたプラネタリウム投影。	※	: ~ :
	13:30-14:15	天文	プラネタリウムフュージョン投影	メガスター3フュージョンの機能を最大限に生かした特別番組「過去と未来への旅」の投影	※	: ~ :
	14:00-14:45	天文	アストロテラス公開	アストロテラスの望遠鏡を使った太陽の観察(晴天時のみ)		: ~ :
	15:00-15:45	天文	プラネタリウム一般向け投影	プラネタリウム一般向け番組「太陽系のタイムカプセル」投影	※	: ~ :
12月8日 (金)	9:30-11:35	学校	地層観察会	小学6年生の理科授業支援として行う、生田緑地における地層の露頭観察会。対象は市立東菅小学校6年生。(雨天時室内プログラム1時間程度で実施)	※	: ~ :
12月9日 (土)	10:00-11:30	科学	サイエンス教室「いろいろな月」	小学4～6年生を対象。かわさきアトム工房による科学実験教室。実験や工作を通して、楽しみながら自然科学の仕組みについて知る。	※	: ~ :

日	時	対象事業			参加申込	
		分野	事業名	概要	申込	参加可能時間
12月9日 (土)	12:30- 14:30	科学	サイエンスワーク ショップ	子どもから大人まで自由参加の所要時間15分程度の初歩的な科学 工作の講座。(かわさきアトム工房担当)。		: ~ :
12月10日 (日)	14:00- 16:00	科学	サイエンス教室 「バネの科学」	15歳以上(主に成人)を対象としたサイエンス教室。バネの理論と活 用した工作を予定。市民団体サイエンス・ちゃれんじ・チーム担当。	※	: ~ :
12月12日 (火)	9:30- 11:35	学校	地層観察会	小学6年生の理科授業支援として行う、生田緑地における地層の露 頭観察会。対象は市立菅小学校6年生。(雨天時室内プログラム1時 間程度で実施)	※	: ~ :
12月16日 (土)	12:30- 14:30	科学	サイエンスワーク ショップ	子どもから大人まで自由参加の所要時間15分程度の初歩的な科学 工作の講座。(トラボクラブ担当)。		: ~ :
12月17日 (日)	11:00- 12:00	自然	生田緑地観察会	特定のテーマに沿って緑地を案内するネイチャーガイド。当日のテ ーマは「昆虫」(雨天中止の場合あり)	※	: ~ :
12月21日 (木)	13:30- 14:15	天文	プラネタリウム 星空ゆうゆう散歩	ベテラン解説員を講師に迎えたシニア向け投影。元職員の國司眞氏 により「冬至とクリスマス」をテーマに解説。	※	: ~ :
	14:00- 14:45	天文	アストロテラス公開	アストロテラスの望遠鏡を使った太陽の観察(晴天時のみ)		: ~ :
	15:00- 15:45	天文	プラネタリウム 一般向け投影	プラネタリウム一般向け番組「太陽系のタイムカプセル」投影	※	: ~ :
12月23日 (土)	18:00- 20:00	天文	星を見るタベ	アストロテラスの望遠鏡を使った夜間の天体観察会。プラネタリウムで 30分解説の後、観察。月、木星を観察予定。		: ~ :

- プラネタリウムは投影開始後のドーム内への出入ができません。「参加時間」に※印のついた事業は定時開始となりますので、視察を希望される場合には、開始時刻に余裕を持って集合をお願いいたします。
- 「アストロテラス公開」「サイエンスワークショップ」「星を見るタベ」等の事業は、開催時間中は随時参加・入退場自由です。なお、土日祝日の混雑時には解説ができない場合がありますのでご了承ください。
- 報告書に記載の6つの事業について、上記以外でも対応可能です。ご希望がありましたらご相談ください。
- 収蔵庫見学等を他の視察と合わせて行うことも可能です。ご希望がありましたらご相談ください。
- 皆様のご希望を踏まえ、できるだけ複数の皆様による視察となるよう調整・まとめさせていただきますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。